

灯



東北福島出身の草野心平という詩人がいた。カエルを題材とした詩が有名で、教科書にも掲載されていた。詩心などは全くない私だが、姓が同じなので何となく印象に残っている。

草野心平作「秋の

夜の会話」

さむいね

ああさむいね

虫が鳴いてるね

ああ虫が鳴いてるね

もうすぐ土の中だね

土の中はいやだね（以下略）

真夏の夜の“悪夢”



草野 義輔

静かだね

ああ静かすぎるね

えらい政治家の人たちは田舎を良くする、住みやすくするとい

っていたね

そうだねでも誰も住んでいないね

住みやすいならえらい人の子供や孫が帰ってきてもいいのにね

だれも帰ってこ

ないね

みんな都会に住んでいるんだね

ああそうだね

さむいね

ああさむいね

虫が鳴いてるね

ああ虫だけが鳴いてるね

誰もいないね

ああ誰もいないね

限界集落を超えた消滅集落の小さな池でのカエルの会話。

以下草野義輔作「変調 秋の

夜の会話」

いないね

ああ誰もいないね

残暑厳しき毎日。少しは涼しくなりましたでしょうか？

（昭和学園高校理事長・日田

市）